

現代ロシア語形容詞研究・序説（Ⅰ）

白山利信

はじめに

現代ロシア語の形容詞における長語尾と短語尾という二つの語形の併用は、日本人学習者にとって理解しにくい言語現象であるが、これはスラヴ諸語に見られる共通のものである¹。しかしながら、短語尾形の形成や機能という観点から見ると、これらの言語間にはかなりの差異がある。例えば、西スラヴ語に属するチェコ語においては、現在、短語尾形の使用が既にごく一部の語に限られ²、述語の構成要素としてのみ機能している³。また、ロシア語と同じ東スラヴ語に入るウクライナ語でも、極めて限られた特定の語彙の形容詞が短語尾の男性主格形を有し、述語として用いられている⁴。これに対して南スラヴ語の一つであるセルビア語は、短語尾形も格変化し、定語としても述語としても機能する。短語尾形と長語尾形の機能上の違いは、前者が非限定的な意味を持つものに対して、後者は限定的意味を持つという点にある⁵。では、ロシア語についてはどうか。実に興味深い問題である。

ロシア語の一般的な文法書などには、通常、形容詞には長語尾形と短語尾形という形式が存在しており、前者は定語と述語の両方の機能を有し、後者は専ら述語として用いられるとされる。さらに、長語尾形は口語的でやわらかな印象を与えるのに対して、短語尾形は文語的で断定的な調子を帯びるとか、長語尾形は恒常的な特徴を、短語尾形は一時的な特徴を表わすなどといった説明もしばしば与えられている。初学者にロシア語の形容詞の用法に関する大まかなイメージを持たせるという意味では、こうした説明で十分であり、一定の学習効果もあると思われる。しかしその一方で、ロシア語の習得度が高くなるにつれて、学習者は次第に実際の形容詞の用法がそれほど単純ではないという事実に気づきは

¹ 歴史的には、形容詞はもともと短語尾形のみであったが、これに指示代名詞が後接・融合してできたのが、現在の長語尾形である。現代語では、多くの場合、長語尾形が形容詞の主要な機能を担うようになり、短語尾形の機能や用法が相対的に縮小している。

² Васильева В.Ф. Некоторые наблюдения над сочетаемостными особенностями качественных и относительных проиллагательных в русском и чешском языках // Широковой А.В., Грабье В.Л. (ред.) Сопоставительное изучение грамматики и лексики русского языка с чешским языком и другими славянскими языками. М., 1983. С.250.

³ 格変化はせず、短語尾形は性と数で変化する。

⁴ Кононенко В.И. и др. Русский язык. Киев, 1986. С.214.

⁵ 「セルビア・クロアチア語」(栗原成郎)『言語学大辞典 第2巻』三省堂, 1989年, 476頁。

じめる。例えば、ロシア語の形容詞に長短両語尾形があるといっても、すべての形容詞が二つの語尾形式を有しているわけではないし、また、短語尾形が述語としてのみ用いられるといっても、文学作品の表現や慣用句などの中で定語として使われるケースもある。さらに、形容詞には短語尾形のみを持つものや長語尾形と短語尾形で語義が異なるものも存在し、語尾形式の違いだけで、長語尾形が口語的であるとか、短語尾形が文語的であるといった文体上の差異を一概に指摘することができないケースも多い。そして、短語尾形が一時的特徴を表わすという言説についても、その適用可能なケースは一般化できるほど決して多くはない。逆に長語尾形が一時的特徴を表わすようなケースも見られる。特殊なケースではあるが、成句的な表現の中では、短語尾形が格変化した形で用いられているものもある。

このように現代ロシア語における形容詞長語尾形と短語尾形の用法は、決して単純、明快なわけではなく、むしろ複雑で多様な様相を呈している。そこで拙稿では、まずロシア語の形容詞そのもののタイプに着目し、長語尾形と短語尾形の両方を持つ形容詞、短語尾形のみを持つ形容詞、長語尾形のみを持つ形容詞を明らかにしたい。その上で形容詞の様々な用法を鳥瞰し、可能な範囲で分類、体系化を図りたいと思う。そして、最後に形容詞の用法に関する規範性を逸脱するケースについて言及し、言語使用の柔軟性を垣間見ることとする。

1. 形容詞の種類と語尾形式

本章では、Русская грамматика I, М., АН СССР, 1980 (以下、『80年文法』と称する)の"Имя прилагательное"(С.540-572)の記述を一つの重要な手掛かりとして、他の文献も適宜参照しながら、形容詞の種類、特徴、語尾形式の形成の可能性による形容詞のタイプ、短語尾形における形成可能な語尾形式のタイプ等について、整理し、検討することとする。

1.1 形容詞の種類

ロシア語の形容詞は厳密な分類が常に可能なわけではないが、その語義内容、統語的機能、語形成機能などの相違によって、大きく二つの範疇、すなわち、性質形容詞 Качественные прилагательные と関係形容詞 Относительные прилагательные に分けることができる。関係形容詞に関しては、さらに所属・属性以外の関係性を示す非物主形容詞 Неприятительные прилагательные と所属・属性という関係性を表示する物主形容詞 Притяжательные прилагательные に下位分類される¹。

¹ 『80年文法』(540頁)では、形容詞を性質形容詞と関係形容詞の二つに大別し、物主形容詞を関係形容詞の一部として扱う立場を取っている。それに対して、物主形容詞を関係形容詞に含め

1.1.1 性質形容詞

まず性質形容詞とは、ある対象の特徴や性質を言わば直接的に示す形容詞で、具体的には、大きさ、形、色、重さ、味、温度、強度、距離、人や物などの様々な特質を表現するものである。そして、性質形容詞によって表わされる特徴や性質は、程度の大小で捉えられる相対的なものである（相対的特質）。その意味で特質に関するある種の極性、すなわち、当該の特質のスケールにおける＋極性と－極性を内在しているとも言える。

例 *большой* 大きい, *круглый* 丸い, *красный* 赤い, *лёгкий* 軽い, *солёный* 塩っぱい, *жаркий* 暑い, *сильный* 強い, *далёкий* 遠い, *нежный* 優しい

1.1.2 関係形容詞

次に関係形容詞とは、ある対象の特徴や性質を間接的に表わす形容詞で、ある対象の、他の事物、行為、数、時間、場所、所属などに対する関係性を示すものである。関係形容詞の語義内容は、あくまでも対象との関係性を示すものであり、程度の大小で把握されるような相対性を有していない。その意味で、対象の恒常的、不変的な性質や特徴を表示するものである（非相対的特質）。以下、物主形容詞ではない関係形容詞の例を挙げる。

例 *студенческое общежитие* 学生寮, *голубиная почта* 伝書鳩郵便, *часовой механизм* 時計じかけ, *идеологическая борьба* イデオロギー闘争, *воспитательная работа* 養育の仕事, *горное пастбище* 山の放牧地, *утренняя зарядка* 朝の体操, *двойные рамы* 二重窓

1.1.2.1 物主形容詞

物主形容詞とは、すでに触れたように、ある対象の所属や属性という関係性を専ら表わす関係形容詞である。物主形容詞は、通常の関係形容詞、つまり、非物主形容詞とは形態的に語尾が異なる部分があり、また所属や属性という関係性に関しても、とりわけ人と動物への所属や属性の表示に限られるといった特徴を持っており、極めて特殊性が強い¹。

例 *отцов дом* 父の家, *бабушкины очки* 祖母の眼鏡, *кукушкино яйцо* カッコウの卵, *верблюжья шерсть* ラクダの毛, *волчья стая* 狼の群れ, *медвежье мясо* 熊の肉

ず、形容詞を性質形容詞、関係形容詞、物主形容詞の三つに分類する考えに立つ研究者もいる。例えば、*Шанский Н.М., Тихонов А.Н. Современный русский язык II. 2-е изд. М., 1987. С. 214; Валгина Н.С., Розенталь Д.Э., Фомина М.И. Современный русский язык. М., 1987. С.181-185* を参照。筆者は、関係性の提示という機能的な観点から鑑みて、非物主形容詞と物主形容詞の間に本質的な相違があるとは考えにくいので、『80年文法』と同様、形容詞を大きく性質形容詞と関係形容詞に分類し、物主形容詞を関係形容詞の中に位置付ける立場を支持する。

¹ このような事情を考慮して、本稿では通常の関係形容詞、すなわち、非物主形容詞と区別して検討することにする。

1.2 性質形容詞と関係形容詞の特徴

次に性質形容詞と関係形容詞の特徴について見てみよう。

1.2.1 性質形容詞の特徴

性質形容詞の主要な特徴として、語形成能力、統語能力、語彙特性などの観点から次の八つの点を挙げることができる。

①長語尾形と短語尾形の双方を取ることができる。(語形成能力)

例 *высокий* — *высок*, *живой* — *жив*, *новый* — *нов*

②比較級及び最上級の形成が可能である。(語形成能力)

例 *белый* — *белее* — *самый белый*, *тяжёлый* — *тяжелее* — *тяжелейший*, *ароматный* — *ароматнее* — *самый ароматный*

③-о, -е, -и という接尾辞を持つ性質副詞 *качественные наречия* を形成することが可能である。(語形成能力)

例 *смелый* — *смело*, *певучий* — *певуче*, *отеческий* — *отечески*

④-ость(-есть), -ота, -ева, -изна, -ство を取る抽象名詞をつくることができる。(語形成能力)

例 *важный* — *важность*, *сыпучий* — *сыпучесть*, *острый* — *острота*, *синий* — *синева*, *новый* — *новизна*, *буйный* — *буйство*

⑤主観的評価を意味する接尾辞-ова(-ева-), -еньк(-оньк-), -ущ(-ющ-)などを伴って指小 *уменьшительность*, 表愛 *ласкательность*, 指大 *увеличительность* を表わす形容詞を形成することができる。(語形成能力)

例 *кислый* — *кисловатый* — *кисленький* — *кислющий*

⑥定語的数量副詞 *определятельно-количественные наречия* と結合することができる。(統語能力)

例 *очень дорогой*, *вполне удовлетворительный*, *весьма скромный*, *совсем лысый*

⑦対義語のペアをつくりやすい。(語彙特性)

例 *глупый* — *умный*, *лёгкий* — *тяжёлый*, *скупой* — *щедрый*

⑧複数の同義語を持つものがある。(語彙特性)

例 *смелый* — *храбрый* — *отражный*, *радостный* — *весёлый*

これらの諸特徴は、いずれも性質形容詞が持っている特質の相対性の表示という意味的機能から生じていると考えられるが¹、ここで注意しなければならない点は、すべての性質形容詞が上記の全特徴を有しているわけではないということである。例えば、表1に示

¹ 長語尾形と短語尾形の機能的な差異の問題については改めて検討するが、二つの語尾形式の間に語義的な相違が見られない場合には、特質の相対性を表現する方法の違いと見ることもできる。

されているように、八つの特徴のうち、いくつかの特徴を備えているものからすべての特徴を持っているものまで様々である¹。

表1 性質形容詞と諸特徴の有無

性質形容詞	短語尾形の形成	比較級・最上級	副詞の形成	名詞の形成	主観的評価の形態	副詞との語結合	対義語	同義語	特徴数
острый	+	+	+	+	+	+	+	+	8
белый	+	+	+	+	+	+	+	+	8
холодный	+	+	+	+	+	+	+	+	8
близкий	+	+	+	+	+	+	+	+	8
вежливый	+	+	+	+	+	+	+	+	8
новый	+	+	-	+	+	+	+	+	7
голодный	+	+	+	-	+	+	+	+	7
приветливый	+	+	+	+	-	+	-	+	6
гордый	+	-	+	+	-	+	-	+	5
мёртвый	+	-	+	-	-	-	-	+	3
женатый	+	-	-	-	-	-	+	+	3

1.2.2 関係形容詞の特徴

では関係形容詞については、どうであろうか。性質形容詞との違いに注意を払いながら、非物主形容詞、物主形容詞の順に見ていくことにする。

1.2.2.1 非物主形容詞の特徴

物主形容詞ではない通常の関係形容詞の主な特徴として、語形成上の制限、語形成の起源、表現上の特性などの観点から3つの点を指摘することができる。

①通常、短語尾形を形成せず、長語尾形のみを有する。(語形成上の制限)

例 фруктовый, морской, ночной

②名詞から派生したものが多い。(語形成の起源)

例 берёзовый — берёза, японский — Япония, весенний — весна

③名詞を起源に持つ関係形容詞による表現は、その名詞の斜格形あるいはそれに前置詞を

¹ 故に、何を持って性質形容詞と規定することができるのかという問題が生じるが、一番大切な基準はやはり特質の相対性表示の有無であろう。

伴った形で言い換えることができる。(表現上の特性)

例 сиреневый куст ライラックの灌木 — куст сирени, клубничное варенье イチゴジャム — варенье из клубники, книжный шкаф 本棚 — шкаф для книг

1.2.2.2 物主形容詞の特徴

物主形容詞の基本的な特徴に関しては、形態特性や語義特性などの観点から四つの点が指摘できる。

①接尾辞-ин(-ын), -нин, -ов, -ев(-ёв)と語尾-ий, -ье, -ья, -ьи を取る二種類がある。(形態特性)

例 дядин, мужнин, отцов, кесарев; волчий — волчье — волчья — волчьи, медвежий — медвежье — медвежья — медвежьи

②接尾辞-ин(-ын), -нин を取るタイプは男性・中性・女性・複数主格, 不活動体男性対格, 中性・女性対格, 不活動体複数対格で、一方、接尾辞-ов, -ев (-ёв)のタイプは男性・中性・女性・複数主格, 男性・中性生格・与格・対格, 女性対格, 不活動体複数対格で短語尾形の形態を有する¹ (表2, 表3を参照)。(形態特性)

表2 -ин(-ын), -нин 型の物主形容詞の格変化

	男性形	中性形	女性形	複数形
主格	бабушкин	бабушкино	бабушкина	бабушкины
生格	бабушкиного	бабушкиного	бабушкиной	бабушкиных
与格	бабушкиному	бабушкиному	бабушкиной	бабушкиным
対格	бабушкин/бабушкиного	бабушкино	бабушкину	бабушкины/бабушкиных
造格	бабушкиным	бабушкиным	бабушкиной	бабушкиными
前置格	бабушкином	бабушкином	бабушкиной	бабушкиных

¹ -ин(-ын), -нин 型の物主形容詞の語形の一部に見られる短語尾形は、かつて短語尾形が形容詞の主要な役割を果たしていた時代の用法をそのまま現代まで保持してきたものであると推測される。このタイプの物主形容詞が長語尾形の形態に完全に取って代わらなかったのは、おそらく、その所属・属性という関係性の表示機能そのものの中に定性 определенность の意味が含まれており、当該の物主形容詞が特定性, 限定性を示す後置の指示代名詞をあえて取る必要性がなかったということ、つまり、後にその指示代名詞が定性表示機能を失い、形容詞短語尾形と融合して長語尾形に変わるといふ素地がもともとなかったこと、さらにこれらの物主形容詞が人(特に親族名称)や動物の所属・属性の表示に関わるものであり、それ故にその使用頻度が比較的高かったことなどに起因するのではないかと考えられる。

表3 -ов, -ев (-ёв)型の物主形容詞の格変化

	男性形	中性形	女性形	複数形
主格	отцов	отцово	отцова	отцовы
生格	отцова	отцова	отцовой	отцовых
与格	отцову	отцову	отцовой	отцовым
対格	отцов/отцова	отцово	отцову	отцовы/отцовых
造格	отцовым	отцовым	отцовой	отцовыми
前置格	отцовом	отцовом	отцовой	отцовых

③接尾辞-ин(-ын), -нин, -ов, -ев(-ёв)を取るタイプは個人的所属・属性の意味を持ち、血縁関係に関わる名詞や人名からつくられることが多い。(語義特性)

例 мамин, сестрин, братнин, Сашин(Сашина комната), Иванов(Иваново детство)

④語尾-ий, -ье, -ья, -ьиを取るタイプは、通常、一般的な生物、特に動物への所属・属性を表わす。(語義特性)

例 олений рог 鹿の角, лисья нора 狐の穴, собачье чутьё 犬の嗅覚, заячьи повадки 兎の習性

上記のことから性質形容詞と関係形容詞の特徴上の大きな相違をごく簡潔に整理してみると、次のようになる。性質形容詞は、豊かな語形成能力や統語能力の動態性を備えているという意味で、言わば「開かれた」機能を有している。一方、関係形容詞には、そのような動態性はなく、そこではあくまでも対象との関係性(非相対性)のみを表示するという語内部における静態性が保持されている。したがって、関係形容詞は、語形成能力と統語能力という観点では、機能的に「閉じている」と言えよう¹。

1.3 性質形容詞の関係形容詞化と関係形容詞の性質形容詞化

時代や社会の変化、また言語を運用する人々の意識の変化等によって、語というものは、本来の意味を失って新しい意味を獲得したり、あるいは従来の意味を基本的に保持しながらも微妙な意味ニュアンスを帯びるようになったり、というように常に変化する可能性を秘めている。ロシア語の形容詞も例外ではなく、事実、語義の変容によって一部の形容詞においては、性質形容詞と関係形容詞の機能的変換が生じるケースもある。

¹ 性質形容詞と関係形容詞との関係は、ある意味で、米重文樹教授の指摘した、意識の「二重構造」の中で把握できる機能的対立の一つ、すなわち、前者が「開かれた部分」として直視・印象的に捉えられるのに対して、後者は「閉じた全体」として巨視・判定的に捉えられるようなものと思われる。この「二重構造」の詳細な考察については、米重文樹「直視と巨視——ロシア語のもつある特質について」『ロシア・日本・西欧』朝日出版社、1976年、755-767頁を参照されたい。

1.3.1 性質形容詞の関係形容詞化

まず性質形容詞が転義して関係形容詞として機能しているケースを見てみよう。

性質形容詞が関係形容詞化することは稀であるが、それらの多くは専門用語としての色合いの強い熟語の一部を成している。

例 *глухой согласный* 無声子音, *живая изгородь* 生け垣, *лёгкая промышленность* 軽工業, *чёрная металлургия* 鉄鋼業

また、性質形容詞が地名の一部として用いられているケースも数多く見られる。

例 *Белое море* 白海, *Великие Луки* ヴェリーキエルーキ, *Кривой Рог* クリヴォイログ, *Тихий океан* 太平洋

ここでは、性質形容詞本来の持つ語彙的意味、文法的特徴の多くを失い、事実上、関係形容詞と同じような役割を果たしている。このように性質形容詞が機能的に関係形容詞に転化したものを関係・性質形容詞 *Относительно-качественные прилагательные* と呼んでいる。

1.3.2 関係形容詞の性質形容詞化

当然のことながら、逆の事態も起こりうる。関係形容詞の一部は、語彙的意味の広がりを見せ、性質形容詞のような語義内容を併せ持つものも存在する。

例 *деревянная нога* 木製の義足 — *деревянные нервы* 鈍感な神経, *железные сплавы* 鉄の合金 — *железная воля* 不屈の意志, *золотой прииск* 金山 — *золотой человек* 非常に立派な人

これらは、関係形容詞が転儀して性質形容詞としても用いられているケースである。このように関係形容詞が機能的に性質形容詞に転化したものを性質・関係形容詞 *Качественно-относительные прилагательные* という。また、性質・関係形容詞は関係形容詞の文法的特徴のみならず、性質形容詞としてのそれを持つようになった結果、一部のものは短語尾形、比較級及び最上級を形成し、語結合の可能性を広げ、定語的数量副詞と結び付くことができる。一例を挙げると、*сердечный* は、名詞 *сердце* から派生した関係形容詞（「心臓の」の意）であるが、性質形容詞（「心からの」の意）としても機能し、実際、その語形成能力や統語能力の可能性を拡大している。

例 *сердечен/-чна/-чно/-чны*, *сердечнее*, *самый сердечный*, *сердечно*, *сердечность*, *очень сердечный*

物主形容詞についても、生物への所属・属性という意味にとどまらず、性質形容詞としての意味を持つようになるケースもある¹。

¹ 尚、物主形容詞ではない関係形容詞が性質形容詞としての機能を持つようになった性質・関係形容詞の一部に関しては、短語尾形を形成することができるが、*-ий*, *-ье*, *-ья*, *-ьи* 型の物主形容詞が性

例 заячий мех 兎の毛皮 — заячья натура 臆病な性質, собачья будка 犬小屋 — собачий холод
ひどい寒さ, кошачья лапка 猫の足 — кошачья лёгкость 猫のような軽快な動き

このようにロシア語の形容詞は、常に性質形容詞と関係形容詞に峻別できるわけではない。

1.4 語尾形式の形成の可能性による性質形容詞のタイプ

性質形容詞だけが短語尾形を有するといっても、すべての性質形容詞がそれを有しているわけではない。性質形容詞の中には、短語尾形を形成せず、長語尾形のみを持つものもある。また、短語尾形だけを取る性質形容詞も存在する。ここでは、性質形容詞を語尾形式の形成の可能性に基づいて簡潔に整理する。

1.4.1 長語尾形と短語尾形の両方を持つ性質形容詞

まず、長語尾形を持ち、かつ短語尾形を形成できる、つまり、長短両語尾形を有する性質形容詞をその形態的特徴によって分類することにしたい。

①-ый という変化語尾を持つ性質形容詞

例 справедливый, мглистый, бодрый, уклончивый

但し、-ый という変化語尾を有する性質形容詞であっても、次の二つのケースでは、短語尾形は形成されないか、あるいは一定の制限を受ける。

(a) -ан(ый), -ен(ый), -ён(ый) という接尾辞を持つ性質形容詞で、語形成上、被動形動詞 страдательное причастие の短語尾形と一致するものは、形容詞短語尾形を形成しない。

例 мазаный 汚れた — мазан (мазаный) <мазать 塗る, давленый つぶれた — давлен (давленый) <давить 圧迫する, творёный 練った — творён(творённый) <творить 創造する
しかしながら、例外もあり、被動形動詞の短語尾形と同じ形態を取るにもかかわらず、-ан(ый) という接尾辞を持つ性質形容詞で短語尾形をつくるものが存在する。

例 { путаный 混乱した — путан, путано, путана, путаны
путанный <путать もつれさせる — путан, путано, путана, путаны

また、否定を意味する接頭辞 не- と結合することで短語尾形の形成が可能となるケースもある。

例 { званый 招かれた — звать の被動形動詞短語尾形と一致するため短語尾形は形成されない
незваный 招かれていない — незван, незвано, незвана, незваны

(b) 動詞から派生した性質形容詞で、-лый に終わるものは、語形成上、その動詞の過去形との一致が見られる場合、単数形では短語尾形をつくることができず、複数形の短語尾形

質形容詞に転化した場合に短語尾形が形成されることはない。

のみが形成可能である¹。

例 { бывалый — 短語尾形は複数形の бывалы のみ形成可能
бывать — бывал, бывало, бывала, бывали

逆に、動詞の過去形との一致がなければ、短語尾形は形成され得る²。

例 { талый 解凍した — тал, тало, тала, талы
таять 溶解する — таял, таяло, таяла, таяли

また、-лыйで終わる一部の性質形容詞においては、短語尾形の形成自体まれであるが、語形成上、派生元の動詞の中性過去形、女性過去形と一致するという理由から、男性形と複数形においてのみ短語尾形の形成が可能になるケースもある³。

例 { гиблый 破滅的な — 短語尾形は男性形の гибл、複数形の гиблы のみ形成可能
гибнуть 破滅する — гиб/гибнул, гибло, гибла, гибли

このように、性質形容詞が複数短語尾形だけを形成し得る、あるいは男性短語尾形と複数短語尾形のみを形成し得るというケースは、動詞の過去形とその派生語としての性質形容詞との間の形態的対立を避けた結果、生じたものなのである⁴。

②-ий という変化語尾を持つ性質形容詞で、語幹末に子音 г, х, щ を取るもの

例 г — пологий ならかな, убогий みすぼらしい, упругий 弾性のある
х — ветхий 老朽化した, тугоухий 耳の遠い, тихий 静かな
щ — цветущий 活力漲る, манящий 魅惑的な, блестящий 輝く

③-ий という変化語尾を持つ性質形容詞で、語幹末に子音 к がくるもの

例 склизкий つるつるする, бойкий 活発な, громоздкий ずっしりと重い, ковкий 可鍛性の
但し、語幹末で-ск-, -еск-, -ическ-, -овск-, -ианск-という形態を取るものは除く⁵。

④-ий という変化語尾を持つ性質形容詞で、語幹末に子音 ж, ч, ш を取るもの

例 похожий 似ている, всхожий よく芽の出る, охочий 大好きな, широкоплечий 肩幅の広い,

¹ бывалый 以外の例として、возмужалый 大人びた (→возмужать 大人になる)、исхудалый 痩せこけた (→исхудать 痩せこける)、отсталый 遅れた (→отстать 遅れをとる)、усталый くたびれた (→устать 疲れる) などが挙げられる。

また、動詞形態との対立避けるという要因とは全く関係なく複数短語尾形のみが用いられ、単数短語尾形を取らないものもある。例 разный

² талый のほか、унылый 物憂気な (→унывать 元気をなくす)、беглый 流れるような (→бегать 走る)、тусклый くすんだ (→тускнеть くすむ) などが類例として挙げられる。

³ гиблый 以外にも具体例として、облезлый 毛の抜けた (→облезть 毛が抜ける)、обрюзглый 病的に太った (→обрюзгнуть 病的に太る)、обвислый 垂れ下がった (→обвиснуть 垂れ下がる)、усохлый 乾いて縮んだ (→усохнуть 乾いて縮む) などを挙げることができる。

⁴ 性質形容詞が短語尾形を有するといった場合、それが必ずしも短語尾形のすべての語形を形成できるわけではないという事実については、学習者はしっかり押さえておく必要がある。

⁵ これらは、関係形容詞によく見られる形態的特徴である。

пеший 徒歩で行く, хороший 良い

⑤-ий という変化語尾を持つ性質形容詞で, 語幹末に指大 *увеличительность* の意味を表わす-охоньк(-ёхоньк-), -ошеньк(-ёшеньк-)という接尾辞を取るもの

例 легохонький ひどく軽い, смирнёхонький 非常に従順な, легошенький 極めて軽い, здоровёшенький 至極健康な, умнёшенький 頭がよく切れる, веселёшенький とても愉快的

⑥-ий という変化語尾を持つ性質形容詞で, 接尾辞-уч(юч)-, -ач(яч)-を取るもの

例 гремучий とどろく, жгучий 燃えるような, линучий 褪色しやすい, лежащий 寝ている, зрячий 目の見える, горячий 熱い

⑦-ний に終わる性質形容詞

例 крайний 極端な, давний 昔からの, древний 古来の, средний 並の

但し, 子音+ний という形を取るものは, 通常, 男性短語尾形を形成しない。しかも, 女性・中性形短語尾形を取ることはまれである。したがって, ここでは複数短語尾形を取ることが多い¹。

⑧-ой という変化語尾を持つ性質形容詞で, かつ無音節語幹のもの

例 злой 悪い

⑨-ой という変化語尾を持つ性質形容詞で, 子音 *к, л, н, т* が語幹末に来ないものであり², かつ単音節語幹のもの

例 живой 生命力のある, тугой ぴんと張った, косой 斜めの, босой はだしの, немой 押し黙った

但し, чужой, меньшой のように短語尾形を形成しないものも存在する。

⑩-ой という変化語尾を持つ単音節語幹の性質形容詞で, 語幹が子音 *л, н, т* で終わるもの

例 гнилой 腐った, дрянной ろくでもない, чудной 奇妙な, святой 聖なる, пустой 空っぽの

本来関係関係形容詞である *земной* “地球の”, *ручной* “手の”, *цветной* “色の” は, 転義でそれぞれ「月並みの」「飼い馴らされた」「多彩な」という語義を獲得し, 性質形容詞としても機能しうるが, 短語尾形は形成されない。また *шалльной* “ぼかんとした” は性質形容詞であるが, 短語尾形を形成しない。

⑪-ой という変化語尾を持つ性質形容詞で, 語幹が二音節以上で次に挙げるもの

例 дорогой 高価な, молодой 若い, развитой 著しく発達した, удалой 剛胆な

色を表わす性質形容詞である *голубой* “青い”, *золотой* “金色の” は短語尾形の形成が可能であるが, 短語尾形は稀にしか用いられない。また *деловой* “実務に長けた” は, かつて短語

¹ 『80年文法』(559頁)においては, この言説を裏付ける理論的な根拠は明らかにはされていない。

² 逆に語幹末に来る子音 *к, л, н, т* は, 関係形容詞, 動詞の過去形, 被動形動詞などの形態的特徴を連想させる。

尾形を形成していたが、現在では用いられていない¹。

1.4.2 短語尾形のみを持つ性質形容詞

性質形容詞には、長語尾形を持たず、短語尾形だけで用いられているものがある。以下に三つのタイプを挙げておく。

① *горазд* “巧みだ”, *надобен* “必要だ”, *должен* “義務がある”, *рад* “嬉しい”, *люб* “好きだ” という五つの性質形容詞²

例 *А разве пригожий Лель горазд на песни?* (А.Н. Островский, С-185³) あの伊達男のレーリは本当に歌がうまいのかい?

Здравствуй, Балда-мужичок, какой тебе надобен оброк? (А.С. Пушкин, С-185) やあ, 百姓のバルダ, 年貢には何が必要なんだい?

Я должен прочитать эту статью. ◇ 私はこの論文を読み終えなければならない。

Мы очень рады видеть вас. ◇ 我々はあなたにお目にかかれて光栄です。

Люб ты мне, Иванушка. ◇ 愛しいイワン, あたしはあんたが好きだよ。

② *рад* 及び *один* という語から派生したもので, *-ёхонек*, *-ёшенек* という語尾を取るもの

例 *радёхонек/радёшенек* とてもうれしい, *одинёхонек/одинёшенек* 孤独だ

③ 接尾辞 *-енек*, *-онек* を持つ性質形容詞

例 *слабенец*, *труденец*, *страшнец*, *тупенец*, *долговец*, *великовец*, *широковец*

但し、上記の形容詞短語尾形と表愛を示す接尾辞 *-еньк-*, *-оньк-* を持つ性質形容詞長語尾形との間には意味的な相関関係はない。例えば、*слабенький* と *слабенец* を比較すると、まず前者は“*маленький и слабый*” という意味で、指小・愛称の意味内容 *уменьшительно-ласкательное значение* を有している。これに対し、後者は“*довольно слаб, слабоват*” という意味になり、指小・愛称のニュアンスは持っていない。さらに、*слабенец* は、文体的に民衆詩的な色合い *народнопоэтическая окраска* も帯びている⁴。

¹ 参考までに *деловой* が短語尾形で用いられている例文を示しておく。

例 *Кто делов истинно — тих часто на словах.* И.А. Крылов (1769-1844), А-558
本当に仕事のできるものは口数が少ないものである。

² かつて *должен* は短語尾形のみならず、長語尾形である *должный* も用いられていたが、現代ロシア語では、長語尾形は成句的な表現の中に見られる程度である。しかも、短語尾形とは異なった語義で使われている。

例 *на должном уровне* しかるべき水準で, *на должной высоте* しかるべき高さで, *в должной мере* しかるべき程度で, *должным образом* しかるべく

また、*люб* は民話や詩などで用いられる。

³ 左側のローマ字は引用例文の出典、右側の数字は該当する頁を示している。引用例文の出典は本稿の最後に挙げてある。

⁴ 染谷茂「*«Грамматический словарь»*を買って損したか得したか」『現代ロシア語』現代ロシア語社、

1.4.3 長語尾形のみを持つ性質形容詞

性質形容詞は、多くの場合、短語尾形を形成するが、短語尾形を持たない、長語尾形だけを持つものもある。ここでは、性質形容詞の形態特性、語義特性などの点から六つのタイプを挙げる。

①単一式の比較級、最上級

例 **большой, меньший, старший, младший, высший, низший; новейший, дражайший, наилучший**

但し、合成式の比較級及び最上級は、長語尾形、短語尾形ともに用いられる。合成式の比較級は〈副詞 **более/менее** + 形容詞の原級〉という表現形式で表わされ、性質形容詞の原級の部分は長語尾形、短語尾形のいずれの使用も可能である。

例	長語尾形	短語尾形
	более трудный, -ое, -ая, -ые	более труден, -дно, -дна, -дны
	менее добрый, -ое, -ая, -ые	менее добр, -о, -а, -ы

合成式的最上級のうち、〈副詞 **наиболее/наименее** + 形容詞の原級〉という表現形式では、長語尾形、短語尾形双方ともに用いられる。

例	長語尾形	短語尾形
	наиболее сложный, -ое, -ая, -ые	наиболее сложен, -жно, -жна, -жны
	наименее длинный, -ое, -ая, -ые	наименее длинен, -нно, -нна, -нны

②性質形容詞から派生したもので、性質の程度の大きいことを示す接尾辞-ущ-, -ющ-, -енн-, 接頭辞 **пре-, раз-**を伴うもの

例 **худуший** 痩せこけた, **злющий** 非常にどう猛な, **широченный** 広大な, **предобрый** 極めて善良な, **развесёлый** ひどく陽気な

③-щийся, -вший, -вшийся という語尾を取る形動詞派生の性質形容詞

例 **кажущийся** 見かけだけの, **выдающийся** 優秀な, **увлекающийся** 熱中しやすい, **упавший** 意気消沈した, **отживший** 寿命の尽きた, **бывший** 昔の, **расплывшийся** 太りすぎの, **опустившийся** 墮落した

④動物（主に馬）の毛色を表わす性質形容詞

例 **буланый** (馬につき) こげ茶色の, **вороной** (馬につき) 黒色の, **гнедой** (馬につき) 栗毛色の, **каурый** (馬につき) 薄栗毛色の, **пегий** (馬につき) 斑の, **саврасый** (馬につき) 鹿毛色の, **чубарый** (馬につき) 斑の, **сивый** (馬につき) 灰青色の, **соловый** (馬につき) 淡黄色の

⑤色を示す一部の性質形容詞

(1)接尾辞-ов-, -ев-, -л-, -н-を伴う派生語であるもの

例 кумачовый 赤サラサ色の, бежевый ベージュ色の, палевый 麦わら色の, порыжелый 赤茶けた色の, пожелтелый 黄色い, почернелый 黒ずんだ, пурпурный 濃紅色

但し, пунцовый “深紅の”, багровый “赤紫色の”, 等の一部の例外は除く。

(2)関係形容詞でありながら, 同時に色を表わす性質形容詞としても用いられているもの

例 бронзовый ブロンズの/青銅色の(<бронза), изумрудный エメラルドの/エメラルド色の(<изумруд), канареечный カナリアの/カナリア色の(<канарейка), каштановый 栗の/栗色の(<каштан), кофейный コーヒーの/コーヒー色の(<кофе), шоколадный チョコレートの/チョコレート色の(<шоколад), лимонный レモンの/レモン色の(<лимон), кремовый クリーム製の/クリーム色の(<крем), огненный 火の/真っ赤な(<огонь), пепельный 灰の/灰色の(<пепель), стальной 鋼鉄の/銀灰色の(<сталь), табачный たばこの/緑褐色の(<табак)

(3)対等の二つの形容詞から形成された色合いを表わす複合形容詞

例 бледно-розовый 淡いバラ色の, тёмно-красный 暗赤色の, светло-голубой 淡い青色の, ярко-жёлтый 鮮やかな黄色の, серебристо-белый 銀色がかった白色の, синевато-серый 青みがかったグレーの, вишнёво-красный サクランボ色じみた赤色の, пепельно-серый 灰白色の, ярко-зелёный 鮮やかな緑色の, тёмно-синий 暗青色の, молочно-белый 乳白色の, светло-зелёный 淡い緑色の

⑥比較的最近になって性質形容詞としての語義も持つようになった接尾辞-ск-, -ов-を有する, あるいは-ной に終わる関係形容詞起源のもの

例 братский 友好的な, дружеский 友情あふれる, рядовой ごくありふれた, передовой 進歩的な, родной 親しい, продувной ずるい

1.4.4 長語尾形と短語尾形の両方を持つ関係形容詞 (性質・関係形容詞)

関係形容詞は, 通常, 長語尾形だけを有し, 短語尾形を形成しない。しかし, 特に詩や文学といった芸術作品の中ではときおり関係形容詞としての本来の機能を消失し, 何か象徴的な意味を持つ性質形容詞, すなわち, 性質・関係形容詞として用いられる。このような場合, 短語尾形を形成することがある。

①-янный, -яный, -иный, -овый という語尾を取る関係形容詞 (文学作品のみ)

例 стеклянный ガラスのように透き通った(<стекло ガラス), оловянный 生氣のない(<олово 錫), серебряный (音などにつき) よく通る(<серебро 銀), лошадиный 馬のように丈夫な(<лошадь 馬), свинцовый 重苦しい(<свинец 鉛)

文例もいくつか挙げておきたい。

例 Воздух свеж, стеклянен. (В.Я. Шишков, А-558) 空気は新鮮でガラスのように澄み切っている。

Крики их протяжны и *серебряны*... (Солоухин, А-558) 彼らの叫びは長くつづき、そして響きわたり…

②子音+*-ний*で終わるもので、特に時および場所に関わる関係形容詞

例 *всегдашний, тогдашний, вчерашний, сегодняшний, нынешний, здешний, тамошний, тутошний*

一例だけであるが、文例を挙げておく。

例 *Сегодняшний Брюсов даже в своих революционных произведениях слишком вчерашен.* (А-544) 現在のプリューソフはその革命的作品においてさえあまりに時代遅れである。

③性質形容詞としての語義内容を併せ持っている一部の関係形容詞

例 *картинный* 絵画の／表現力に富んだ, *жизненный* 生命の／極めて重要な, *музыкальный* 音楽の／音楽的才能のある, *мирный* 平和の／温和な, *наблюдательный* 観察の／眼識のある

ここでは文例を二つ挙げておく。

例 *Петя был музыкален, так же как и Наташа.* (Л.Н. Толстой, *Война и мир*, ВП-310) ペーチャは、ナターシャ同様、音楽的な才能があった。

Рассказ его, при всей суровой сжатости, всегда занимателен и картинен. (А.И. Куприн, *Лесная глушь*, ВП-35-36) 彼の話は、極めて簡潔ではあるにもかかわらず、いつも楽しく表現力豊かである。

1.5 短語尾形における形成可能な語尾形式のタイプ

短語尾形を持つ性質形容詞は、多くの場合、単数短語尾形（男性、中性、女性）及び複数短語尾形の全語形を有しているが、1.4.1で述べたように、複数短語尾形のみを形成するもの（例 *бывалый*）、男性単数短語尾形と複数短語尾形のみを形成するというもの（例 *гиблый*）も存在しており、短語尾形の一部のみを形成する性質形容詞もある。では、短語尾形の形成が可能な場合、全体としてその形成可能な語尾形式にはどのようなタイプがあり、それぞれのタイプを形成する性質形容詞にはどのようなものがあるのだろうか。

А.А. Зализняк の *Грмматический словарь русского языка*, М., 1977 には（以下、『文法辞典』と称する）、形容詞短語尾形における語尾形式の形成上の制限に関する情報が記されている。それに基づいて、当該辞典に収録されている形容詞の語彙全体を調べてみた¹。その結果、(1)短語尾の全語形の形成が可能なタイプ、(2)男性単数短語尾形のみが形成が可能なタイプ（男性単数短語尾形以外の形成が困難）、(3)中性単数短語尾形と複数短語尾形の形成が可能なタイプ（男性単数短語尾形と女性単数短語尾形の形成が困難）、(4)男性

¹ この辞典は種々の文法情報の記された逆引辞典であるが、筆者は、形容詞の語尾形態を示す*-ий*から*-ый*の箇所（290-439頁）に収められた、2万語を超える形容詞について詳細に調査した。

単数短語尾形, 中性単数短語尾形, 複数短語尾形の形成が可能なタイプ (女性単数短語尾形の形成が困難)¹, (5)女性単数短語尾形, 中性単数短語尾形, 複数短語尾形の形成が可能なタイプ (男性単数短語尾形の形成が困難)², の五つに分類できることが判明した。これに, 複数短語尾形のみを形成するタイプ³と男性単数短語尾形と複数短語尾形のみを形成するタイプ⁴を加えると, 全体として7つのタイプに分けることが可能である⁵。(表4を参照⁶)

表4 短語尾形の形成可能な語尾形式のタイプとその具体例

	短語尾形の形成可能な語尾形式のタイプ	性質形容詞の具体例
1	全語形の形成が可能なタイプ	добрый, новый, трудный, хороший, яркий
2	男性単数短語尾形のみ形成が可能なタイプ	полутяжёлый, сверхтяжёлый
3	複数短語尾形のみ形成が可能なタイプ	бывалый, возмужалый, исхудалый, отсталый, усталый
4	男性単数短語尾形と複数短語尾形のみ形成が可能なタイプ	гиблый, облезлый, обрюзглый, обвислый, усохлый

¹ 『80年文法』の記述に基づき, 1.4.3⑤(3)では, 対等の二つの形容詞から形成された色合いを表わす複合形容詞は, 短語尾形を, 通常, 形成しないと指摘し, 具体例をいくつか挙げた。『文法辞典』では, 個々の形容詞に関して, 部分的に解釈が異なっている。светло-голубой, ярко-зелёный, светло-зелёный の三つについては, 基本的に短語尾形を形成しないとしているが, темно-красный, ярко-жёлтый は男性単数短語尾形, 中性単数短語尾形, 複数短語尾形の形成が可能なタイプ, бледно-розовый, пепельно-серый, тёмно-синий は短語尾の全語形が形成可能なタイプとして扱っている。なお, серебристо-белый, синевато-серый, вишнёво-красный, молочно-белый は, 当該辞典に収められていない。

² 1.4.3②では, 『80年文法』の記述に従い, широченный は, 短語尾形を形成しない例として取り上げたが, 『文法辞典』では, 解釈が異なり, 女性単数短語尾形, 中性単数短語尾形, 複数短語尾形の形成が可能なタイプとされている。

³ 『文法辞典』の бывалый, возмужалый, исхудалый, отсталый, усталый に関する解釈は, 『80年文法』とは異なり, これらは短語尾の全語形が形成可能なタイプに含められている。

⁴ гиблый, облезлый, обвислый, усохлый についても, 『文法辞典』では, 短語尾の全語形が形成可能なタイプと見なしている。обрюзглый は, 『文法辞典』に含まれていない。

⁵ もっともこの分類がすべてで, 完全なものであると言い切れるものではない。当然, これら以外のタイプの存在もあり得る。例えば, озорной, (не)проезжий は, 女性単数短語尾形と中性単数短語尾形 (まれ) を形成するという指摘もある (『80年文法』, 558頁)。しかしながら, 性質形容詞が短語尾形を形成するといっても必ずしもその全語形を備えているわけではなく, 語形成上, 複数のタイプが存在するという事は, 具体的にはっきりと示すことができたのではないと思われる。また, この表の分類の信憑性を真の意味で確認し, 立証するためには, 現代ロシア語に関する膨大なテキストデータを収めた最新のロシア語コーパス資料に基づく実証的な研究が必要不可欠である。

⁶ 表4の2, 5, 6, 7のタイプの具体例については, 『文法辞典』に収められていた, 該当するすべてのものを挙げている。

5	中性単数短語尾形と複数短語尾形の形成が可能なタイプ	взрослый
6	男性単数短語尾形, 中性単数短語尾形, 複数短語尾形の形成が可能なタイプ	сверхдолгий, полулёгкий, сверхлёгкий, полумягкий, капельножидкий, сверхнизкий, полудикый, сверхтонкий, полужёсткий, правый, ультраправый, левый, ультралевый, сверхтвёрдый, полукруглый, полуголый, слабокислый, главный, южный, престранный, крававо-красный, ярко-красный, светло-красный, медно-красный, тёмно-красный, огненно-красный, светло-серый, тёмно-серый, сверхточный, сверхмощный, обоюдоострый, ярко-жёлтый, светло-жёлтый, бледно-жёлтый
7	女性単数短語尾形, 中性単数短語尾形, 複数短語尾形の形成が可能なタイプ	особенный, здоровенный, косвенный, тяжёлый, мысленный, пламенный, временный, экстренный, толстенный, широченный, высоченный, страшенный, бурлескный, гротескный, водоспускный, верхний

1.6 まとめ

以上の記述内容を踏まえ、形容詞の種類と語尾形式の相関関係を図に纏めると、次のようになる。

図1 形容詞の種類と語尾形式の相関関係

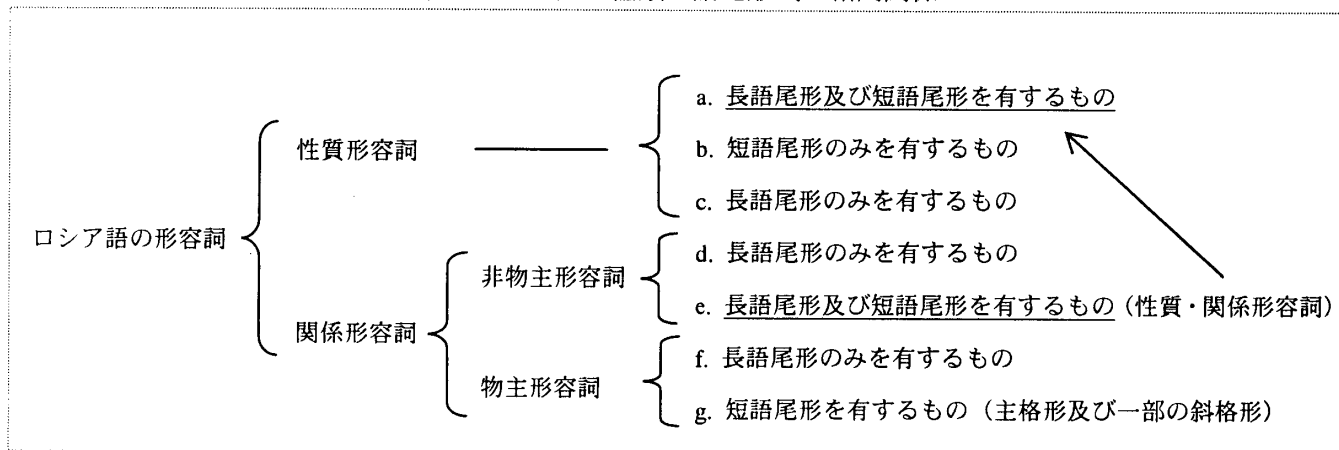


図1に示されているように、長短両語尾形を有するタイプは、a.とe.に限られている。e.については、実質的に性質形容詞の範疇に入る。二つの語尾形式に関する統語機能上の意味的対立という理論的な視点から全体を見ると、まず、a.の定語的機能は、生産性のあるものとしては、長語尾形のみが担っており、語尾形式による意味的対立はない。述語的機能に関しては、現在時制では、長語尾主格形と短語尾形の意味的対立が存在する。長語尾形については、過去時制と未来時制で、さらに長語尾主格形と長語尾造格形の意味的対

立が加わり¹、形容詞は三つの語形に対立することになる。b. は、述語的機能に限られ、語尾形式上の意味的对立はない。c. 及び d. は定語的機能と述語的機能の両方の機能を併せ持っているが、言うまでもなく、前者においては統語機能上の意味的对立は存在しない。後者については、現在時制では専ら長語尾主格形を取るのので、語尾形式上の意味的对立はない。過去時制と未来時制においては、長語尾主格形と長語尾造格形の二つの語尾形式が可能となり、意味的对立が生じる。f. 及び g. については、その統語機能の中心は定語的機能であるが、語尾形式がそれぞれ固定されているので、語尾形式における対立は存在しない²。したがって、全体として形容詞長語尾形と短語尾形の意味的对立が問題となるのは、a. と e. の述語的用法ということになる。

そして、短語尾形を有する性質形容詞のタイプと短語尾形における形成可能な語尾形式のタイプの相関関係を図に纏めると、以下のようなになる。

図2 短語尾形を有する性質形容詞のタイプと形成可能な語尾形式のタイプの相関関係

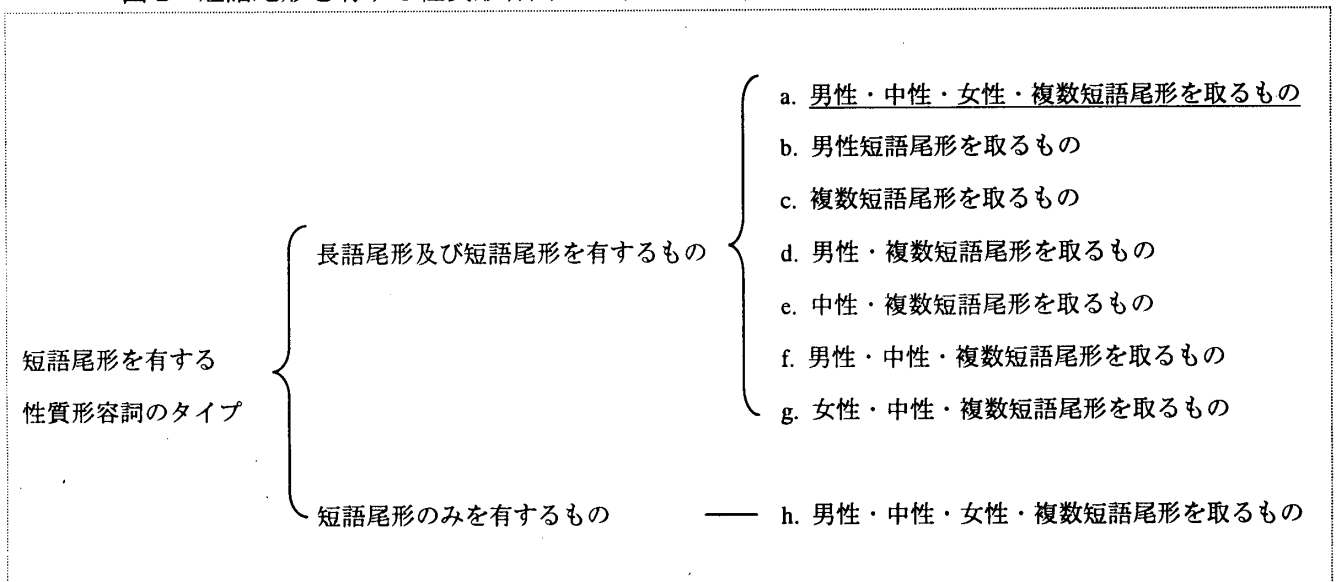


図2から明らかのように、短語尾形を持つ性質形容詞は、長短両語尾形を持つものと短語尾形のみを持つものの二つに分れる。後者は基本的に短語尾の形成可能な語形に関するバリエーションはないので、すなわち、基本的に短語尾の全語形を有するので、語形成上の問題について注意を払う必要がない。しかし、前者については、一部の語形のみ形成が

¹ 長語尾主格形と長語尾造格形との対立が問題にケースに関しては、名詞述語における主格と造格の意味的对立との関連の中で検討する必要がある。

² 但し、所属・属性を表現する一致定語としての物主形容詞の用法と不一致定語としての名詞の生格の用法との間には、意味的对立が存在する。

可能なものから全語形を形成できるものまで相当の幅が在り、その点は特に注意が必要である。というのも、長語尾形と短語尾形の各語形が必ずしも1対1に対応しているわけではないからである。ただ相対的には、b.~g.のタイプは非常に少なく、長短両語尾形を持つ性質形容詞の中ではむしろ例外的な存在であり、短語尾の全語形を形成できるa.のタイプが大半である。（第一章終了）

——以下次号——

※ 拙稿は、東京外国語大学外国語学部の平成15年度開設授業科目「ヨーロッパ言語研究Ⅲ」（前期）において、筆者が行なった講義内容の一部を加筆・修正し、論考の形に書き改めたものである。

用例出典

- A — Русская грамматика. I. М.:АНСССР, Наука, 1980.
B — Словарь русского языка в 4 томах. 4-е изд. М.:АНСССР, Русский язык, 1999.
C — Валгина Н.С., Розенталь Д.Э., Фомина М.И. Современный русский язык. М.:Высшая школа, 1987.
◇ — 筆者が作文し、それが正しい文であることをインフォーマントに確認した用例。

文献

- Валгина Н.С., Розенталь Д.Э., Фомина М.И. Современный русский язык. М.:Высшая школа, 1987.
Васильева В.Ф. Некоторые наблюдения над сочетаемостными особенностями качественных и относительных проилластративных в русском и чешском языках // Широковой А.В., ГрабьеВ.Л. (ред.) Сопоставительное изучение грамматики и лексики русского языка с чешским языком и другими славянскими языками. М.:Изд. МГУ, 1983. С.235-251.
Зализняк А.А. Грамматический словарь русского языка. М.:Русский язык, 1977.
Кононенко В.И. и др. Русский язык. Киев:Выща школа, 1986.
Русская грамматика. I. М.:АНСССР, Наука, 1980.
Шанский Н.М., Тихонов А.Н. Современный русский язык. II. 2-е изд. М.:Просвещение, 1987.
「セルビア・クロアチア語」（栗原成郎）『言語学大辞典 第2巻』三省堂, 1989年。
染谷茂 「「Грамматический словарь»を買って損したか得したか」『現代ロシア語』現代ロシア語社, 1977年11月号, 34-39頁。

白山利信

米重文樹「直視と巨視 —— ロシア語のもつある特質について」, 木村彰一編『ロシア・日本・西欧』
木村彰一教授還暦記念論文集, 朝日出版社, 1976年, 755-767頁.

(謝 辞)

大学院博士課程での三年, 大学院入学の前年の一年, そして博士課程を出てからの日本学術振興会特別研究員としての一年, 計五年間, 米重先生のきめ細やかで心温かいご指導のもと, 本当に伸び伸びと楽しく充実した学習・研究生活を送ることができました。心より深くまた深く感謝申し上げます。小生にとって, 米重先生から学ばせていただいたことはあまりにも多く, 中でも学生の自発性, 能動性を徹底して尊重し, 愛情を持って個性と感性を大きく伸ばしていこうとする教育姿勢, また, 大きな見通しに立って, 歩いて踏みしめている道の感触を確かめるかのように着実に, そしてどこまでも自分らしく研究対象に向き合い, 掘り下げていくという研究姿勢は, 現在の小生の, 目標とすべき教育哲学, 研究哲学の一つの原点となっています。教育者, 研究者としてはまだまだ駆け出しの小生ですが, 東大スラヴの大地で呼吸し, 吸収した「米重イズム」を決して忘れることなく, 自身の職場において自分らしく誠実に仕事をしていきたいと思えます。米重先生, 本当にありがとうございました。

Исследование имен прилагательных в современном русском языке (I)

УСУЯМА Тосинобу

В обычных учебниках русского языка и справочниках по его грамматике чаще встречается следующее объяснение. Во-первых, с морфологической точки зрения у русских прилагательных имеются две формы окончания, полная и краткая. Во-вторых, с синтаксической точки зрения первая форма обладает и атрибутивной и предикативной функциями, вторая же употребляется в принципе как предикат. В-третьих, со стилистической точки зрения полные прилагательные, выполняя функцию сказуемого, имеют разговорную окраску и мягкость, в то время как краткие прилагательные отличают книжность и категоричность. В-четвертых, с семантической точки зрения полная форма имен прилагательных обозначает постоянный признак, а краткая форма — временный.

Указанное объяснение достаточно эффективно для того, чтобы дать начинающим определенное представление об общей характеристике употребления русских прилагательных. Но в действительности употребление двух форм имен прилагательных в современном русском языке не столько является простым и четко понятным, сколько представляет сложный и многообразный характер.

В данной работе, обращая внимание на лексико-грамматические разряды имен прилагательных (т.е. качественные и относительные прилагательные), вначале мы намереваемся выяснить три типа прилагательных:

1. прилагательные, имеющие обе формы окончания;
2. прилагательные, имеющие только краткую форму;
3. прилагательные, имеющие только полную форму,

и вместе с тем указать два соотношения:

1. соотношение между разрядами русских прилагательных и формами их окончания;
2. соотношение между типами качественных прилагательных, имеющих краткую форму, и типами кратких форм окончания, которые можно образовать для качественных прилагательных.

Затем, рассмотрев разные примеры употребления обеих форм имен прилагательных, попытаемся их классифицировать и систематизировать как можно проще. И последняя наша

задача — рассмотрение случаев, где появляется отступление от нормативного употребления двух форм прилагательных в сказуемом.

В данной, первой главе подробно рассмотрена первая задача, в частности, на основе описания Русской грамматики I (М., АН СССР, 1980). В результате этого, обобщив указанные два соотношения, можно их схематизировать следующим образом.

Схема 1

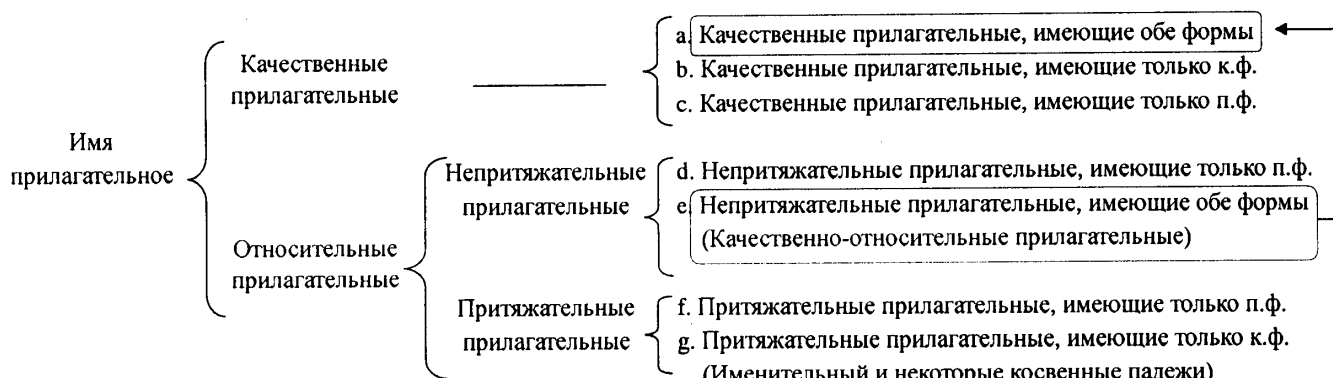
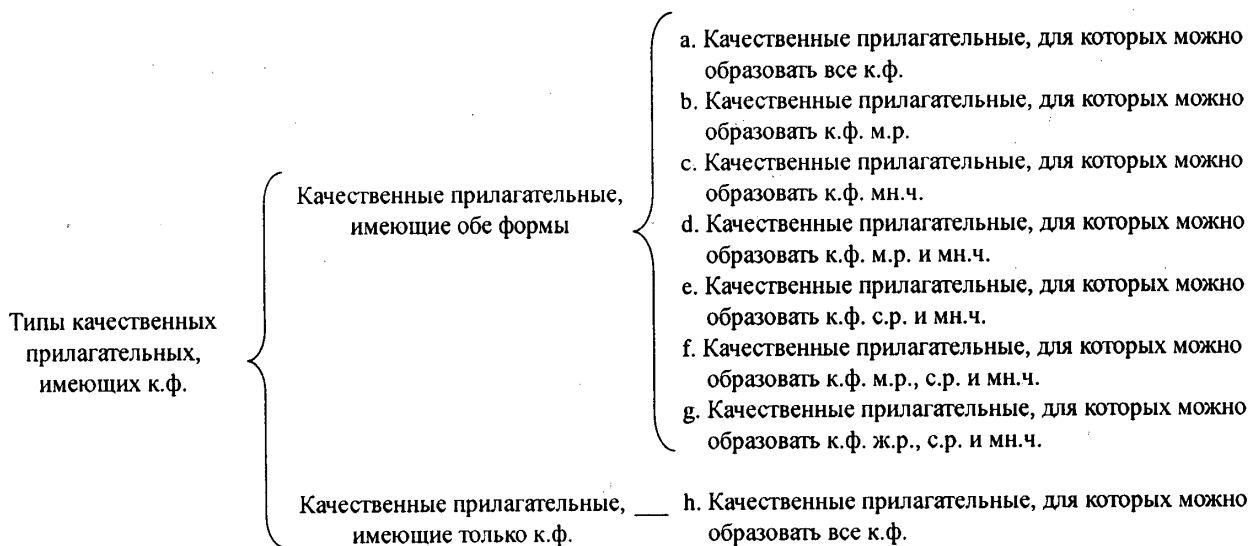


Схема 2



Примечания : п.ф.—полная форма, к.ф.—краткая форма (или краткие формы), м.р.—мужской род, ж.р.—женский род, с.р.—средний род, мн.ч.—множественное число